

平成 30 年 7 月 13 日

各 位

会 社 名 ブライトパス・バイオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 永井 健一
 (コード番号：4594 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役管理部長 酒井 輝彦
 (TEL：03-5840-7697)

iPS-T にかかる東京大学及び順天堂大学との 共同研究終了に関するお知らせ

この度当社は、東京大学及び順天堂大学との間で進めてきた EB ウイルス由来リンパ腫を対象とする iPS 細胞由来再生 T 細胞療法（以下、iPS-T）にかかる共同研究（以下、本共同研究）を終了することを決定しましたのでお知らせいたします。

本共同研究は、東京大学からライセンスを受け探索研究を進めていた株式会社アドバンスト・イミュノセラピー（以下、AIT）を平成 28 年末に当社が承継して始まり、これまで AIT を介して実施されてきましたが、この度共同研究契約は終了し、これに伴い AIT と東京大学との間のライセンス契約も終了いたします。

当社は iPS-T を最初の細胞医薬品開発プロジェクトとして探索研究を進めてまいりましたが、がん免疫療法の領域で CAR-T（キメラ抗原受容体遺伝子導入 T 細胞）に代表される T 細胞医薬品の存在感と期待が世界的に高まる中、当社も細胞医薬パイプラインの構築をより加速化し、積極的に推し進めるために、細胞医薬ポートフォリオを導入検討中のものも含めて見直し、この度東京大学および順天堂大学の合意のもと、本共同研究の中止を決定いたしました。

当社が本共同研究で目指した iPS 細胞技術のがん免疫療法への応用は、今後当面の間は、平成 30 年 3 月 29 日に導入オプション権取得を発表した理化学研究所との他家 iPS 細胞由来再生 NKT 細胞療法 (iPS-NKT) の共同開発において進めてまいります。その他 iPS 細胞技術によらない T 細胞医薬の新たなプラットフォーム技術の導入も継続的に検討してまいります。また、細胞医薬に拘わらず開発ポートフォリオ全体についても、研究員、研究資金など開発リソースの戦略的分配による最適化を行ってまいります。

なお、本件による業績への影響は軽微ですが、AIT は当面研究開発活動を実施しないため休眠会社となり連結対象から外れるため、当社は平成 31 年 3 月期第 2 四半期決算から非連結決算へ移行する予定です。

以 上